

今回の基本指針の変更（案）のポイント

前回（7月27日）

○ 令和3/4年の主食用米等の需給実績（速報値）

（基本指針の図1「令和3/4年の需要実績」に基づき作成）

（単位：万トン）				
令和3年6月末民間在庫量	A	218		
令和3年産主食用米等生産量	B	701		
令和3/4年主食用米等供給量計	C=A+B	919	→	907 ≪12≫
令和3/4年主食用米等需要量	D	702		
令和4年6月末民間在庫量	E=C-D	217	→	208 ≪9≫

令和2年産米のコロナ影響緩和と特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

・在庫量の確定に伴う変更

①

○ 令和4/5年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和4年6月末民間在庫量	E	217	→	208 ≪9≫
令和4年産主食用米等生産量	F	675	→	
令和4/5年主食用米等供給量計	G=E+F	892	→	883 ≪9≫
令和4/5年主食用米等需要量	H	692	→	
令和5年6月末民間在庫量	I=G-H	200	→	191 ≪9≫

注1：令和4年産主食用米等生産量は、6月末時点の作付意向調査の結果（4.3万ha減）を基に試算すると、平年作の場合673万トンとなる見込み。

注2：令和4/5年主食用米等需要量は、過去のデータを用いてトレンドで算出した令和4/5年の1人当たり消費量（推計値）に、令和4年の人口（推計値）を乗じて算出した値であり、新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、変動する可能性がある。

注3：欄外の記載は、コロナ影響緩和と特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、≪≫書きは特別枠に係る取組数量。

注4：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

・令和4年9月25日現在の予想収穫量に基づく変更

②

③

・1人当たりの消費量に人口を乗じる手法により推計（691万トン）

・これに販売動向調査結果による増加（9.2万トン）と価格変動の影響による減少（3.3万トン）を加味（6万トン増加見込み）

今回（10月20日）

○ 令和3/4年の主食用米等の需給実績（確定値）

（基本指針の図1「令和3/4年の需要実績」に基づき作成）

（単位：万トン）				
令和3年6月末民間在庫量	A	218		
令和3年産主食用米等生産量	B	701		
令和3/4年主食用米等供給量計	C=A+B	919	→	907 ≪12≫
令和3/4年主食用米等需要量	D	702		
令和4年6月末民間在庫量	E=C-D	218	→	209 ≪9≫

令和2年産米のコロナ影響緩和と特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

○ 令和4/5年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和4年6月末民間在庫量	E	218	→	209 ≪9≫
令和4年産主食用米等生産量	F	670	→	
令和4/5年主食用米等供給量計	G=E+F	888	→	879 ≪9≫
令和4/5年主食用米等需要量	H	691 ~ 697	→	
令和5年6月末民間在庫量	I=G-H	191 ~ 197	→	182 ~ 188 ≪9≫

○ 令和5/6年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和5年6月末民間在庫量	I	191 ~ 197	→	
令和5年産主食用米等生産量	J	669	→	
令和5/6年主食用米等供給量計	K=I+J	860 ~ 866	→	
令和5/6年主食用米等需要量	L	680	→	
令和6年6月末民間在庫量	M=K-L	180 ~ 186	→	

・令和4年産米と同水準の作付面積とした生産量

・1人当たりの消費量に人口を乗じる手法により推計

注1：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和と特別対策（特別枠）の販売動向等によって、今後、変動する可能性がある。

注2：欄外の記載は、コロナ影響緩和と特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、≪≫書きは特別枠に係る取組数量。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

変更の考え方①

① 令和4年6月末民間在庫量 【217万トン → 218万トン】

- 「令和4年6月末民間在庫量」のうち、生産段階の在庫量について、10月19日に「生産者の米穀在庫等調査」の「6月30日現在における在庫量」の確定値が公表されたことから、これを基に推計(28.6万トン→28.8万トン)。
- これにより、「令和4年6月末民間在庫量」を求めると「**218万トン**」。

(参考)6月末民間在庫の推移

(単位:万トン)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年 (確定値)
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200	218	218

② 令和4年産主食用米等生産量 【675万トン → 670万トン】

- 令和4年9月25日現在の予想収穫量に基づき変更。

③ 令和4/5年主食用米等需要量 【692万トン → 691～697万トン】

【1人当たり消費量のトレンド及び人口推計による主食用米等需要量の見直し】

- 主食用米等需要量の見直しは、平成30年11月基本指針以降に採用している手法(1人当たり消費量に人口を乗じる手法)により推計。
- 令和4/5年主食用米等需要量については、「人口推計(総務省)」の令和4年9月1日現在の概算値を基に推計。⇒「**691万トン**」・・・(ア)

令和4年7月基本指針

	4/5年
1人当たり消費量(推計値) ①	55.4kg
	4年
人口(推計値) ②	124,973千人
	4/5年
需要見通し ①×②	692.2万トン



令和4年10月基本指針

	4/5年	5/6年
1人当たり消費量(推計値) ①	55.4kg	54.8kg
	4年	5年
人口(推計値) ②	124,750千人	124,189千人
	4/5年	5/6年
需要見通し ①×②	690.9万トン	680.3万トン

「人口推計(総務省)」の令和3年10月1日現在総人口(確定値)に、「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)」の令和3年10月1日から令和4年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算定

「人口推計(総務省)」の令和4年9月1日現在総人口(概算値)

「人口推計(総務省)」の令和4年9月1日現在総人口(概算値)に、「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)」の令和4年10月1日から令和5年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算定

変更の考え方②

【米の販売動向調査による需要量増加の見込み】

- 令和4年7月～9月の米の販売動向調査結果によると、この期間の販売量は前年の同期間に比べ1.6%増加。
- 令和3/4年の市場流通見込み(578万トン)における販売量が1.6%増加すると仮定すると**需要量は約9万トンの増加**が見込まれる。・・・(イ)

○ 米の販売動向調査結果

(単位:千トン)

	令和3年 7月～9月 ①	令和4年 7月～9月 ②	増減量 ②-①	増減率 ②/①-1
販売量	975	991	16	+1.6%

- 米の販売動向調査対象者：
年間取扱数量4,000トン以上の卸売業者232社
- 調査対象者の年間取扱数量：
令和3/4年：388万トン

【概念図】

生産量:701万トン

市場流通量
578万トン

農家消費等
123万トン

【価格変動に伴う需要量減少の見込み】

- 令和4年産米の相対取引価格が令和3年産米に比して上昇(+1,142円/60kg)しており、**価格変動に伴う需要量の変動を推計すると約3万トンの減少**が見込まれる。・・・(ウ)

【令和4/5年主食用米等需要量の見通し】

- 「ア」の691万トンから、「ア」の691万トンに「イ」の約9万トンを加えて「ウ」の約3万トンを除いた697万トンと幅をもって「**691～697万トン**」と見通す。

【参考】

※ 「人口推計(総務省)」の令和4年10月1日現在の人口により、需要量の変更が生じる可能性がある。

★ 令和5年6月末民間在庫量 【200万トン → 191～197万トン】

- 上記により、令和5年6月末民間在庫量は「**191～197万トン**」。

④ 令和5年産主食用米等生産量 【669万トン】

- 令和5年産米の生産量については、長期トレンドで見れば毎年10万トン程度の需要が減少し、令和5/6年の需要量を680万トンと見込む中で、令和4年産と同水準の作付面積として生産量を設定しても、669万トンと需要量を11万トン下回ることから、令和4年産と同水準の作付面積として「**669万トン**」を設定。

⑤ 令和5/6年主食用米等需要量 【680万トン】

- 令和5/6年主食用米等需要量については、「人口推計(総務省)」の令和4年9月1日現在の概算値に、「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)」の総人口の減少率を乗じて算定した人口と1人当たり消費量のトレンドを基に推計。⇒「**680万トン**」。

★ 令和6年6月末民間在庫量 【180～186万トン】

- 上記により、令和6年6月末民間在庫量は「**180～186万トン**」。